

○ 採択案件及び概要

高専名	チーム名	案件名
鈴鹿高専	BANKOYAKI with KOSEN	三重ブランド「四日市萬古焼」から和食文化の魅力を発信 ～土鍋から始まる新たな料理ビジネス創出～
<p>【概要】</p> <p>伝統工芸品「四日市萬古焼」は三重県北勢地域の地場産業である。土鍋の国内シェアは、80～90%を占める三重のブランドである。しかし、土鍋の普及率は低下していく傾向である。その理由は、「土鍋の使い方がわからない」「炊飯器でいい」などが挙げられる。それらを解決する方法として、ワイヤレス IoT を用いて誰でも簡単に土鍋で料理できるサービスを提供する。具体的に、土鍋の蒸気の「ピー音」に着目し、音センサを取り付け、炊飯時間や火を止めるタイミングといった土鍋状態を把握する。次に、得られたデータから料理工程の通知・レシピ検索・レシピ共有する料理アプリ（土 NAVI）を開発する。ユーザーは、土鍋に安価で簡単にセッティング可能な付属ツールを取り付け、スマートフォンでワイヤレス通信を行い、土鍋料理レシピの開発・蓄積・発信を行う。</p>		

高専名	チーム名	案件名
鳥羽商船高専	nakakoga-lab	牡蠣養殖の効率化
<p>【概要】</p> <p>現在の牡蠣養殖では、採苗する場所や時期が詳しく把握できず、生育できる牡蠣の量が不安定である。また、牡蠣の餌である植物プランクトンが多くいる深さが分からず、牡蠣の生育に時間がかかることが問題となっている。</p> <p>そこで、過去の種見のデータから牡蠣の種苗が多くいる場所や時期を推測し、より多くの種を付着できるようにする。また、クロロフィル量を観測することで、植物プランクトンの量を推定し、牡蠣の生育に最適な深さを指示することで、安定した牡蠣の生産を確保できるようにする。</p>		